

各位

遠鉄グループ 2021 年度中間決算について

本年度は、コロナ禍というこれまでに例をみない状況で東京オリンピック・パラリンピックが開催された一方、新型コロナウイルス感染症が過去最大となる規模で拡大し、国内で通算4回目となる緊急事態宣言が、長期にわたり発出されるなど、昨年を上回る危機的な状況が訪れました。

このような状況において、当社グループはコロナ禍における需要の変化へ柔軟に対応し、デジタルを活用したサービスの効率化やグループの総合力を活かした事業展開を積極的に推進してまいりました。

その結果、当上半期における当社グループの連結業績につきましては、営業収益 853 億5千8百万円(前中間連結会計期間比 3.6%増加)、経常利益 12 億円(前中間連結会計期間比 244.9%増加)、中間純利益5億4千8百万円(前中間連結会計期間より6億9千4百万円増加)となりました。

今後の見通しにつきましては、ワクチン接種の普及によって対面での接触や移動を伴うサービスの消費が活性化し、個人消費の上向きが期待されるものの、経済の本格的な回復にはまだ多くの時間が必要と考えられており、当社を取り巻く経営環境は依然として、厳しい状況が続くものと考えられます。

こうした先行き不透明な状況の中、当社グループは変化していく消費者のニーズに迅速に対応し、事業の最適化に努めてまいります。

なお、2021 年度の年間連結業績につきましては、営業収益は 1,780 億円(前年同期比 96.3%)、経常利益は 19 億円(前年同期比 55.2%)、当期純利益は6億円(前年同期比 48.7%)となる見込みです。

(別紙)

- (1) 遠鉄グループセグメント別(事業別)の概況
- (2) 業績推移(連結決算・セグメント別営業収益・セグメント別営業利益)
- (3) 遠鉄グループ各社の主な事業内容

この件に関する問い合わせ先

遠州鉄道株式会社 経営企画部

(1)遠鉄グループセグメント別(事業別)の概況

① 運輸事業(鉄道事業、バス事業、タクシー事業など)

鉄道事業・バス事業では、前年同期と比較すると利用者数は増加していますが、依然として新型コロナウイルス感染症拡大によるテレワークの推奨、外出自粛要請、緊急事態宣言の影響等により、新型コロナウイルス感染症以前の利用には至っておりません。こうした状況を踏まえ利用実態に応じた路線・ダイヤの見直しを実施する一方で、営業拠点の統廃合など効率的な運行体制の再構築に取り組んでまいりました。利用人数が急速に減少している中、鉄道事業では、2022年2月に1983年以来39年ぶり(消費税率の改定に伴う運賃改定を除く)となる旅客運賃の改定を予定しております。運賃改定により、耐震工事や定期的な車両更新といった必要な投資を継続的に実施し、鉄道輸送の安全確保と旅客サービスの向上に努めてまいります。

タクシー事業では、一時的に需要が回復傾向となったものの、8月より適用開始された緊急事態宣言の影響により回復基調に陰りがみられました。需要の回復には相当の時間を要する見通しのため、市況に応じた体制の構築・維持、乗務員の営業力の強化、間接部門の効率化に引き続き取り組み、利益確保に努めてまいります。

以上の結果、運輸事業の営業収益は、39億9千9百万円(前中間連結会計期間比12.5%増加)となりました。

② リテールサービス事業(百貨店業、食品スーパー業)

百貨店業では、昨年は、本館地下以外の休館(4月20日～5月10日)や営業時間の短縮、催事の中止などがありました。本年は営業時間の短縮については継続しているものの、9月には新館3階にユニクロがテナントとして加わるなど、客層の拡大に努めました。

食品スーパー業では、昨年のコロナ禍における不要不急の外出自粛やテレワークの拡大などによる巣ごもり需要の反動減がありました。本年7月に愛知県内に2店舗目となる「豊橋曙店」をオープンし、商圈を拡大いたしました。また、新たな取り組みとして、来店が難しいお客様への買物支援として「遠鉄ストアの移動スーパー」の運営を開始しました。

以上の結果、リテールサービス事業の営業収益は、318億7千6百万円(前中間連結会計期間比3.1%減少)となりました。

③ モビリティサービス事業(自動車販売業、石油製品販売業)

自動車販売業においては、トヨタ自動車は昨年、全車種併売化を実施したことにより、取り扱い車種が大幅に増えたことや、新型車を相次ぎ投入する商品政策を実施したことを好機として、お客様へ積極的な提案を行った結果、販売台数が増加しました。しかし、8月頃より半導体不足や東南アジアでの部品不足などによるメーカーの減産の影響があり、納期が遅れ販売台数の伸びが鈍化しました。

トヨタレンタリース浜松は、2021年8月に静岡トヨタ自動車三島店内に三島代車センターを開設しました。

以上の結果、モビリティサービス事業の営業収益は、340億2千2百万円(前中間連結会計期間比9.4%増加)となりました。

④ レジャーサービス事業(旅行業、ホテル・旅館業など)

旅行業におきましては、昨年度よりツアーの募集を中止している中、修学旅行を中心とした外販営業に注力しました。

ホテル・旅館業におきましては、昨年は、緊急事態宣言の発出により施設を一時営業休止しましたが、本年はホテル九重を除き概ね計画通りに営業いたしました。また、ホテルウェルシーズン浜名湖では本年8月よりスカイコート棟の4・5・6階の客室の改装を進めており、少人数利用の需要に即したサービスの強化に努めました。

以上の結果、レジャーサービス事業の営業収益は、10億7千4百万円(前中間連結会計期間比 82.8%増加)となりました。

⑤ 不動産事業(不動産業、建設工事業)

不動産業におきましては、昨年より取り組みを強化している事業用不動産取引が増加いたしました。新築分譲マンションでは、「ブライトタウン早出ザ・コート」の販売が好調に推移しました。また本年7月より浜松駅南にて「ブライトタウン浜松ザ・フロント」の販売を開始いたしました。

住宅事業におきましては、ウッドショックなどにより材料費の高騰がある中、ご契約いただいたお客様を優先に材料の確保に努め、分譲住宅 52 棟、注文住宅 56 棟、分譲土地 41 区画をお引渡ししました。また、コロナ禍でいまだ集客イベントが開催できない中、注文住宅の主力商品「ブライト-S」の商品改定を行い、商品訴求を図るなど、顧客獲得の拡大に努め、注文住宅では 61 棟を受注いたしました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は、60億3千6百万円(前中間連結会計期間比 7.5%減少)となりました。

⑥ その他の事業(保険代理業、介護事業、自動車運転教習業、ビル管理業、業務請負業、情報サービス業など)

介護事業におきましては、ラクラス上島デイサービス内に、日常生活動作を意識した訓練を行うための機能訓練センターを4月にオープンしました。

遠鉄アシストでは、遠鉄百貨店本館・新館の施設警備を内製化するなど、警備事業を強化し、建物管理から清掃・衛生管理・警備まで、トータルのビル管理サービスを提供する体制が整いました。

また、お客様の接点のデジタル化を推進し、日々変化するお客様のニーズに合ったWebシステムやスマートフォンアプリをスピーディに開発するべく、各種ソフトウェア開発を目的とした初の海外現地法人となる遠鉄ベトナム有限会社を設立しました。

以上の結果、その他の事業の営業収益は、83億4千9百万円(前中間連結会計期間比 7.9%増加)となりました。

(2)業績推移

① 連結決算

(単位:百万円)

	中間			年間		
	2020年度	2021年度	2020年度比	2020年度	2021年度(見込)	2020年度比
営業収益	82,407	85,358	103.6%	184,875	178,000	96.3%
営業利益	1	814	50,324.8%	2,715	1,500	55.2%
経常利益	348	1,200	344.9%	3,439	1,900	55.2%
当期純利益	▲146	548	-	1,233	600	48.7%

② セグメント別営業収益

(単位:百万円)

	中間			年間		
	2020年度	2021年度	2020年度比	2020年度	2021年度(見込)	2020年度比
運輸事業	3,555	3,999	112.5%	7,829	8,500	108.6%
リテールサービス事業	32,900	31,876	96.9%	66,225	65,000	98.2%
モビリティサービス事業	31,095	34,022	109.4%	72,916	70,500	96.7%
レジャーサービス事業	588	1,074	182.8%	1,935	2,000	103.4%
不動産事業	6,527	6,036	92.5%	15,681	15,500	98.8%
その他の事業	7,740	8,349	107.9%	20,287	16,500	81.3%

③ セグメント別営業利益

(単位:百万円)

	中間			年間		
	2020年度	2021年度	2020年度比	2020年度	2021年度(見込)	2020年度比
運輸事業	▲1,561	▲679	-	▲2,240	▲900	-
リテールサービス事業	690	433	62.8%	1,437	850	59.2%
モビリティサービス事業	604	178	29.6%	1,674	350	20.9%
レジャーサービス事業	▲959	▲567	-	▲1,449	▲1,100	-
不動産事業	607	518	85.3%	1,324	1,100	83.1%
その他の事業	458	831	181.3%	1,717	1,200	69.9%

(注)金額は、百万円未満を切り捨て表示しております。

(3)遠鉄グループ各社の主な事業内容(2021年9月30日現在)

事業区分	事業内容	主要な会社
運輸事業	鉄道事業	遠州鉄道(株)
	一般乗合旅客自動車運送事業	遠州鉄道(株)
	一般貸切旅客自動車運送事業	遠州鉄道(株)
	自動車整備業	遠州鉄道(株)
	一般乗用旅客自動車運送事業	遠鉄タクシー(株)
リテールサービス事業	百貨店業	(株)遠鉄百貨店、(株)遠鉄百貨店友の会
	食品スーパー業	(株)遠鉄ストア
モビリティサービス事業	自動車販売業	静岡トヨタ自動車(株) (株)トヨタレンタリース浜松
	石油製品販売業	遠鉄石油(株)
レジャーサービス事業	旅行業	遠州鉄道(株)
	ホテル・旅館業、遊園地事業	遠州鉄道(株)、遠鉄観光開発(株)
不動産事業	不動産業	遠州鉄道(株)
	建設工事業	遠鉄建設(株)
その他の事業	保険代理業	遠州鉄道(株)
	介護事業	遠州鉄道(株)
	自動車運転教習業	(株)遠鉄自動車学校
	ビル管理業、業務請負業、 健康スポーツ業、食品検査事業	遠鉄アシスト(株)
	情報サービス業	遠鉄システムサービス(株)
	ソフトウェア開発業	遠鉄ベトナム(有)

グループ会社数 14 社(遠州鉄道含む)